

平成21年7月31日

第95回全国専門委員長会議事録

日 時 平成21年7月31日(金) 14:00～14:50
16:00～17:00

場 所 奈良県奈良市：奈良県営競輪場「飛天交流館3階」

次 第

- 1 専門部長挨拶 高 松 彰
- 2 議長選出 全国高体連自転車競技専門部規約第24条第3項により専門部部長が議長を務める。
原案通り了承
- 3 議事録署名人指名 同規約第25条第1項により、
愛知県専門部委員長 名城大学附属高等学校 伊藤 治郎氏、及び
山梨県専門部委員長 山梨県立富士北稜高等学校 川上 等氏、
2名を推薦する。
原案通り了承
- 4 定足数確認 同規約第24条第1項により、都道府県専門委員長現在数の3分の2(委嘱状を含む32名以上)の出席により本会議成立
会議の前半、後半とも47名中47名(委任状を含む)出席により会議成立
- 5 審議事項
(1) 総務部会から (別紙資料参照) **【総務部会長】**
(2) その他
- 6 報告事項
(1) (財)日本自転車競技連盟及び(財)全国高等学校体育連盟の報告について **【理事長】**
① JCF強化委員会に所属している。全国高体連の立場からあらゆる要望を出している。いろいろな面で、改善していきたい。
② インターハイの3日目9時から、女子エキシビジョンレース(チームスプリント・スクラッチレース)を実施することになった。JKAとの協議の結果、急遽7月13日に決定した。時間的余裕がなかったので、選手選考等いろいろな要望については、来年度に活かして行くので了解していただきたい。
(2) 各専門部会より (別紙資料参照)
(3) その他

別紙資料関係

審議事項

1 高体連代表・日本代表選手の公傷について 【総務部会 今井】

下記に付いて本年度に限りの対応でしたが、来年度以降も継続する。

「全国高体連代表ならびに日本ジュニア・ナショナルチーム（強化指定選手）として、国内外の大会に出場し、大会中の事故のためブロック大会に出場できない選手については公傷と認め、大会要項の8 参加制限（7）の規定に準じ、全体の参加総数の制限内で出場することができる。ただし、事前に全国高体連自転車競技専門部総務委員長（現 総務部会長）に診断書を提出し、承認を必要とする。」

原案通り承認

2 平成22年度 全国高等学校総合体育大会自転車競技実施要項について

【沖縄県実行委員会】

(1) 実施要項 6 引率・監督 項目の一部改訂について

① **実施要綱 6 (1)引率・監督 項目の追加箇所については、全国高体連本部に確認したところ、奈良インターハイの実施要綱から変更されていないので、現状のままとする。**

② **同項目(3)については、下記のとおり追加訂正で承認**

「監督、コーチについては全国高等学校体育連盟自転車競技専門の加盟校登録に記載されていること」

(2) 参加料の値上げ等について報告

原案通り承認

(3) 実行委員会より連絡

① **別紙「美ら島沖縄総体 2010 航空・宿泊シュミレーション」の説明にあるとおり、負け帰りを含め、変更は不可能である。平成21年12月の航空座席仮予約については、多目の予約をしていただきたい。**

② **レンタカーについては、ワゴン車を要請している。**

③ **経費削減のりからインターハイに関して、例年並みの大会運営はできないので、了解していただきたい。**

3 平成21年度 全国選抜自転車競技大会について

【総務部会 今井】

(1) 開催地 …… 北九州市

(2) 開催日程 …… 3月24日(水) 監督会議・開会式・トラック競技
25日(木)・26日(金) トラック競技
27日(土) ロード競技

(1)(2)について原案通り承認

(3) **ロードレースについて（平成21年度選抜大会から実施）**

3年連続の落車事故に対する事故防止対策として次のとおり実施する。

- ① フィニッシュ地点を変更する。 【技術審判部会】
- ② 北九州市のコースについてはキャパシティを考え、参加人数を各都道府県4名から3名に減員する。

(理由)

インターハイのロード参加枠は141名ですが、選抜は4名*47+~~前年度優勝校3名+開催地枠~~で190名を超える参加枠になっています。

昨年度、実際にエントリーされた数は169名ですが、1・2年生だけでこの参加数は安全面に無理がある。

ただし、今後、コースが変更され大会運営上安全が確保できれば、現行の各都道府県4名枠に戻す。

上記の、(理由)の中で、「+開催地枠+前年度優勝校3名」を削除訂正した上で、承認

- (4) 各都道府県参加人数の変更について(平成22年度選抜大会から実施予定)

理事会の原案として、現行の都道府県参加人数配分を、定数6名を3名に変更する。ただしこのことについては、12月の理事会で実施要項一部変更を含めた最終案を作成し、2月の全国委員長会議で決定したい。

については、特別枠の内容も含め、理事会原案に対するご意見をブロック代表が取りまとめて10月末日までに事務局へお知らせください。

(変更理由)

- ① 1・2年生の登録人数が選抜大会の各都道府県参加人数枠の定数6名を満たせない県が昨年度3県、本年度6県あり、参加人数枠の6名は満たせるものの登録人数が10名以下のところは、昨年度10県、本年度13県を数える。
- ② このような状況下で1・2年生の登録数が50名以上の県が2県、中でも埼玉については80名を超える登録数があり、今までの参加人数の算出方法を見直さなければならぬ時期に来ていると判断しました。
- ③ 4月の理事会後に高体連ホームページ上で、選抜大会の参加人数を検討し事務局までご意見をいただくようお願いしてありましたが、反対の意見はありませんでした。

(改定事項)

- ① 参加総数は現行335名(内訳 定数282名+比例配分40名+特別枠(優勝校6+開催県6))ですが、理事会案ではおよそ320名(内訳 定数141名+比例配分141名+特別枠(優勝校3+開催県3+選抜大会入賞者12+インターハイ入賞者+国体入賞者))となり参加総数は現状と差はないと思われる。
- ② ついては、特別枠の内容も含め、理事会原案に対するご意見をブロック代表が取りまとめて10月末日までに事務局へお知らせください。

基本的には、原案を踏まえ定数6名の改定と来年2月に実施される全国専門委員長会議で最終決定することに関し承認。

- ① **ただし、(4) 各都道府県参加人数の変更についての「特別枠の内容も含め、理事会原案に対するご意見をブロック代表が取りまとめて10月末日までに事務局へお知**

らせください。」については、現規約上、ブロック委員長(ブロック代表)は、明文化されていないので、早急規約改定をするか、善後策を講じてもらいたい。

- ② 現状「ブロック代表が取りまとめる」事に関しては、自転車競技専門部の立場から全国の顧問に対し、周知徹底されるように働きかけていただきたい。との意見あり。このことについては、理事長、総務部会長とも善処することで了解した。

- 4 選抜大会会場地の決定に伴い福岡県 月成 憲一先生を総務部会員に選任したい。

【理事長 坂井田】
原案通り承認

報告事項

- 1 「第1回全日本ステージレース in いわて」について 【理事長 坂井田】
高校生にとっては、唯一のステーレースであるので、今後とも全国高体連として、役員派遣の面からも、積極的に対応していきたい。
- 2 ギヤ比制限に関するアンケート結果について 【技術審判部会 福田】
別紙資料のとおりであるが、ギヤ比撤廃については、予想外に賛成が少なかった。今後
も継続審議していきたい。